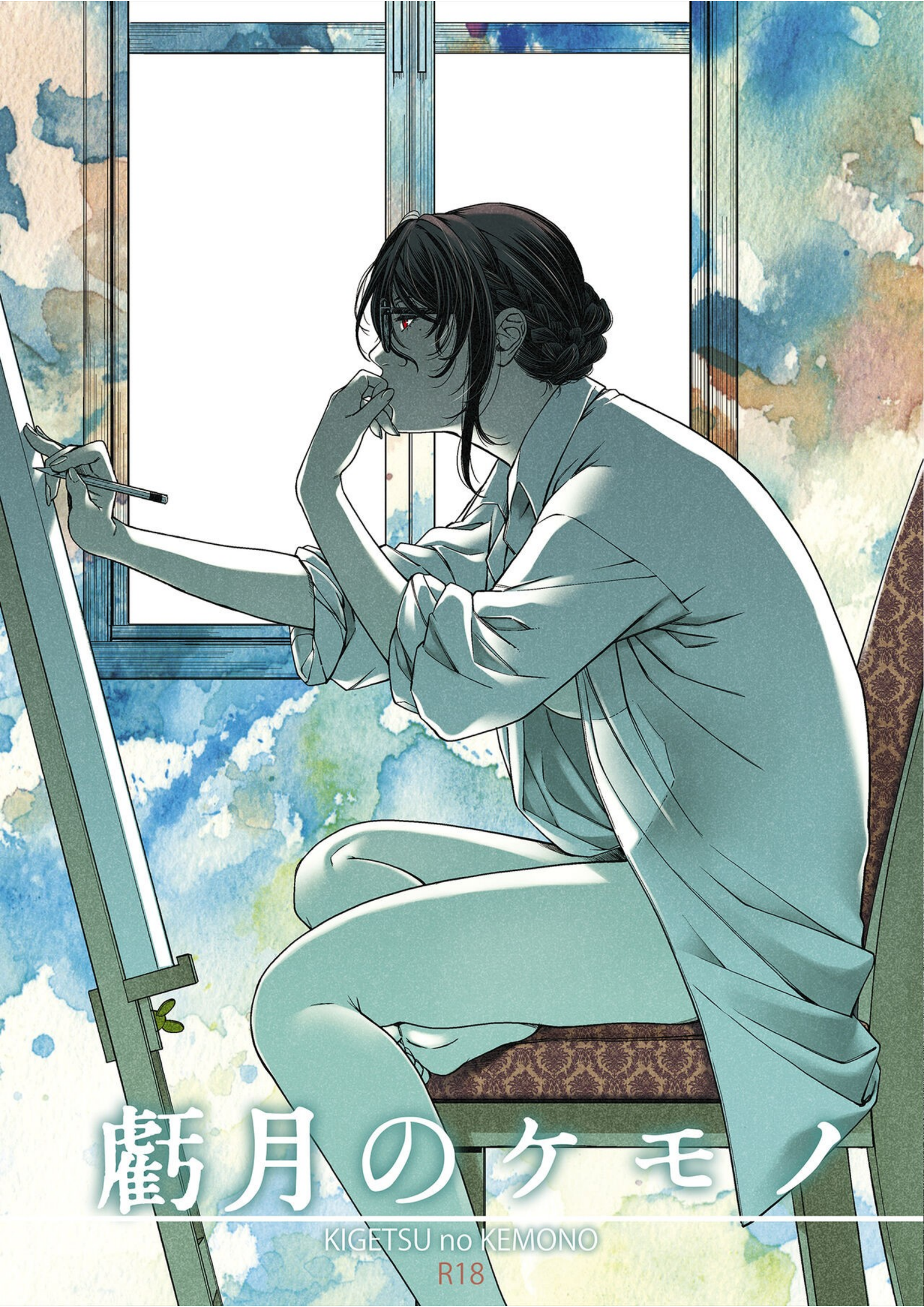
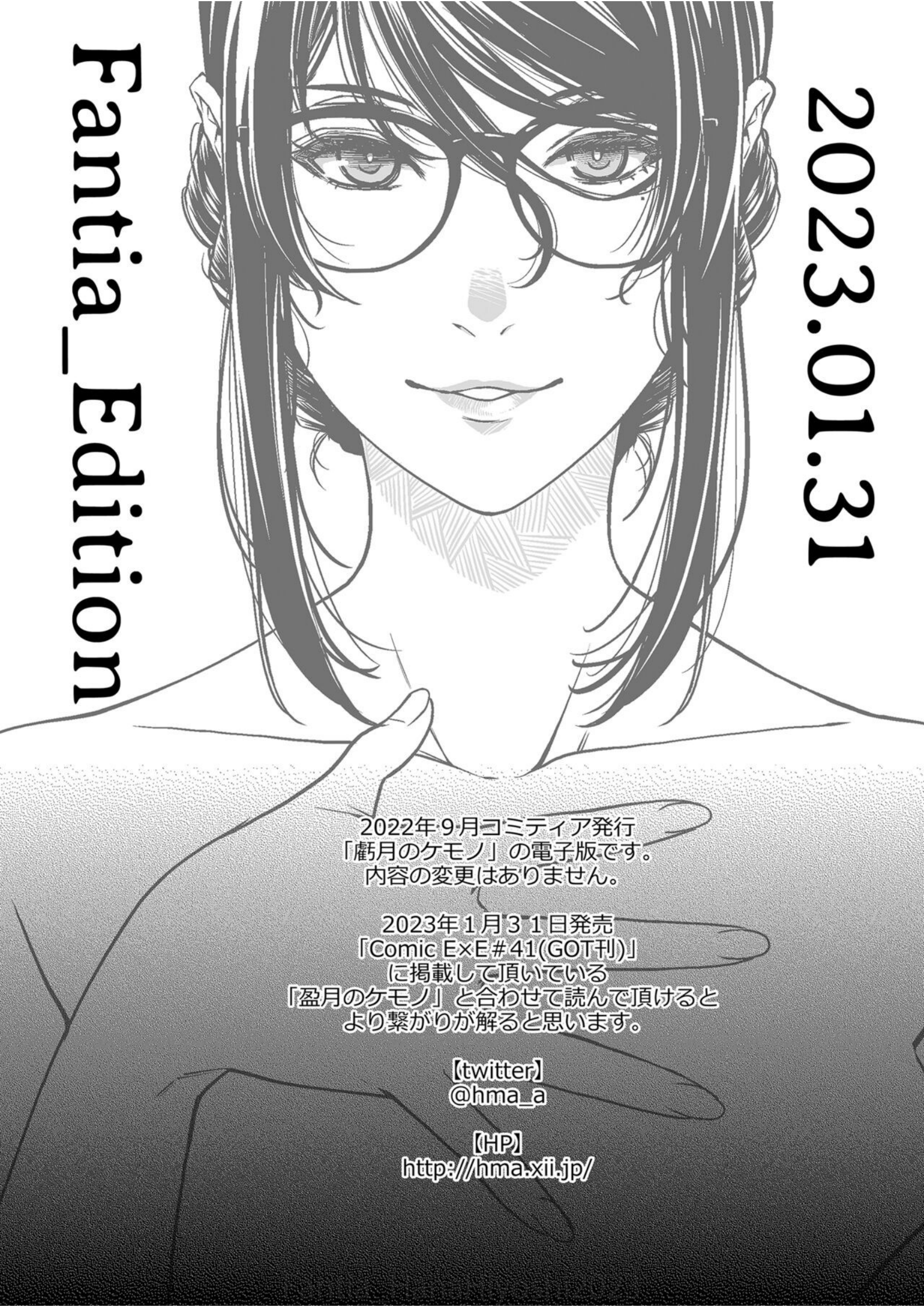




虧月のケモノ

KIGETSU no KEMONO

R18



2023.01.31

Fantia_Edition

2022年9月コミティア発行
「虧月のケモノ」の電子版です。
内容の変更はありません。

2023年1月31日発売
「Comic ExE#41(GOT刊)」
に掲載して頂いている
「盈月のケモノ」と合わせて読んで頂けると
より繋がりが解ると思います。

【twitter】
@hma_a

【HP】
<http://hma.xii.jp/>

きげつ【虧月】

「虧」は欠けるの意

満月から新月までの間の、
欠けて細くなつてゆく月。

今思えば

通り者に当たった
のかもしれない

周囲の大半は
就活を終え
遊び惚ける中

進むべき先が見えず
無駄な時間を
過ごしていた
自分の元へ

半月という
短期バイトの
メールが届いた

バイトというには
破格の報酬

依頼主は
世界的に有名な
近代美術画家の名前

億はくだらない
という額で
作品は取引され

しかしながら作品は
決して表に出ない

本名はおろか
顔も性別も
年齢も不詳

少なくとも
百年以上前から
作品が存在するとも
言われている

普通なら
スパムだろうと
スルーするところ
なのだ

『ふ』と。

魅入られてしまったのかもしれない。

はっきり言って「都市伝説」である

が

千々

...





だから唯一
ここにきてくれた
君には
本当に感謝している

有名過ぎるのも
苦労があるもん
なんだな…

それで…その…
バイトの内容
なんです

有難う

モデルの
バイトなのに

本当に
『何もなくていい』
んですか？

ああ

それこそここを
自分の家のように
好きにしてい
てくれ

まあ半月の間
夏休みで
避暑地に来た
…くらいにな

でも
あんなにお金を
頂いたのに

流石にそれは…

…ではそうだな
料理はお願い
しようかな？

宅配サービスの
料理以外は
久しく食って
いないんだ

KOMA DOG
Home Meal Replacement

百名水
柳の水

そんなことで
良ければ……

今回私は
君という存在を
デッサンをしたい

止まっている人なんて
写真を見れば描ける

生きている、
ということに
意味がある

だから
これから1カ月

いろんな君を魅せてくれ

カナカナカナ……

カナカナカナ……

正直
がっかりしたところと
安堵したところがある

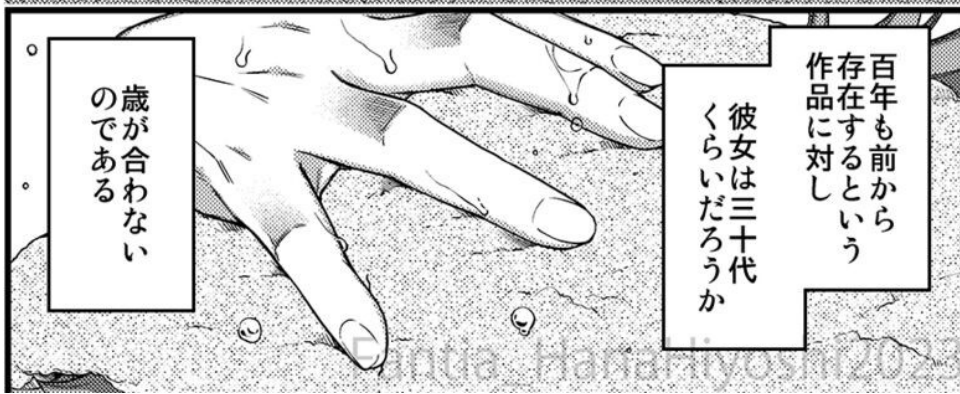
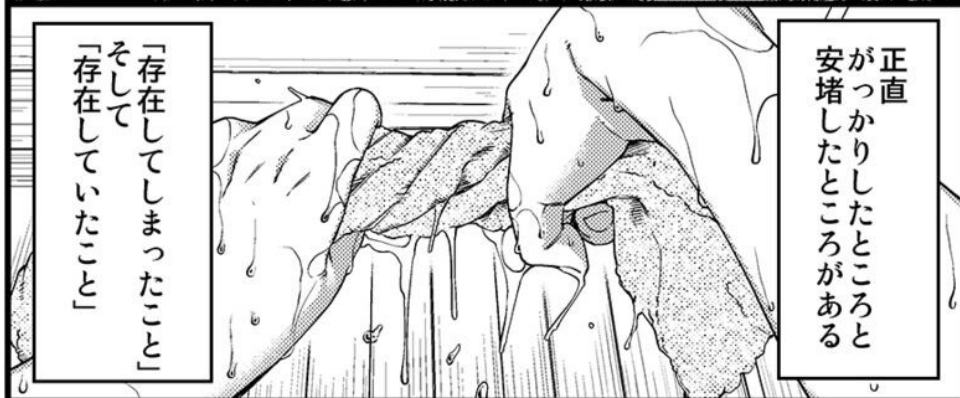
「存在してしまったこと」
そして
「存在していたこと」

そして新たに生まれた疑問。

百年も前から
存在するという
作品に対し

彼女は三十代
くらいだろうか

歳が合わない
のである





『何代目』という
名跡なのかも
しれないし

…ただまあ
よくある



唯一
頭に入ったのは

「何もなくていい」
ということ

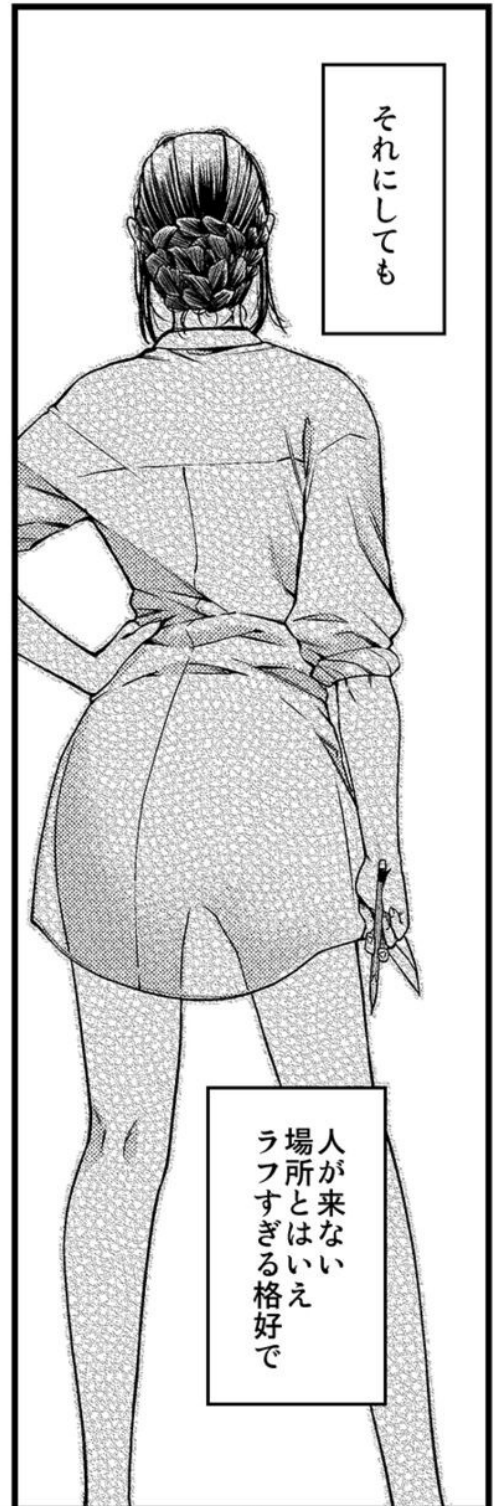
…何か別のこと
していないと

あの格好を半月も
見続けるなんて…



打ち合わせの時
まともに
見られなかったな…

というより
殆ど頭に
入らなかったな…



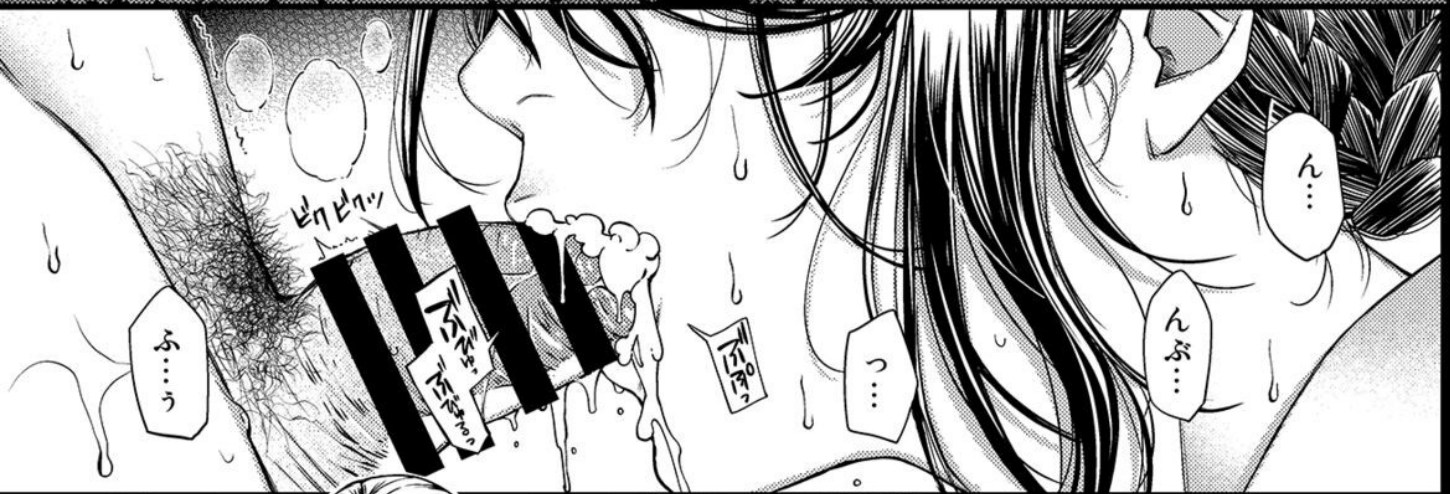
それにしても

人が来ない
場所とはいえ
ラフすぎる格好で

ああほら。



さあ魅せてくれ、君を



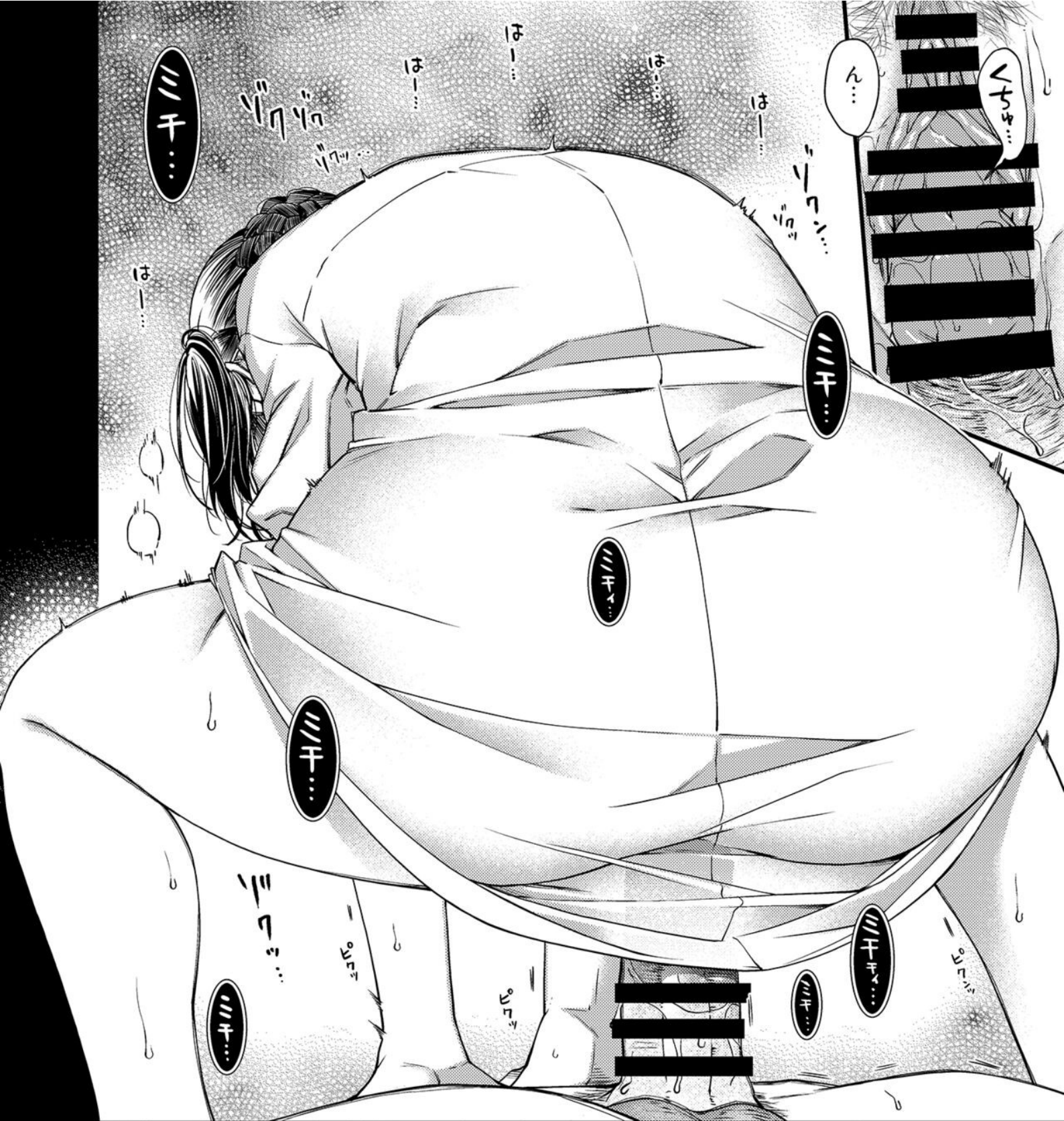
…とはいえ

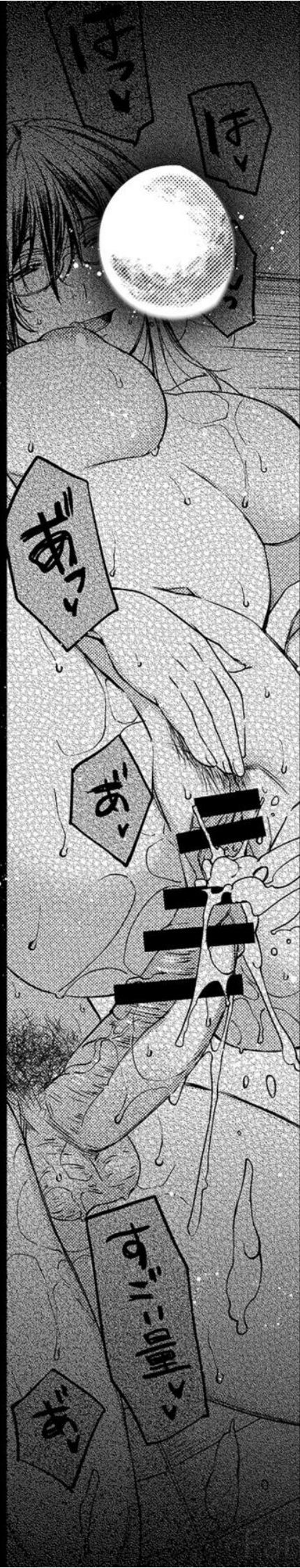


これで
何度目の
射精かな？

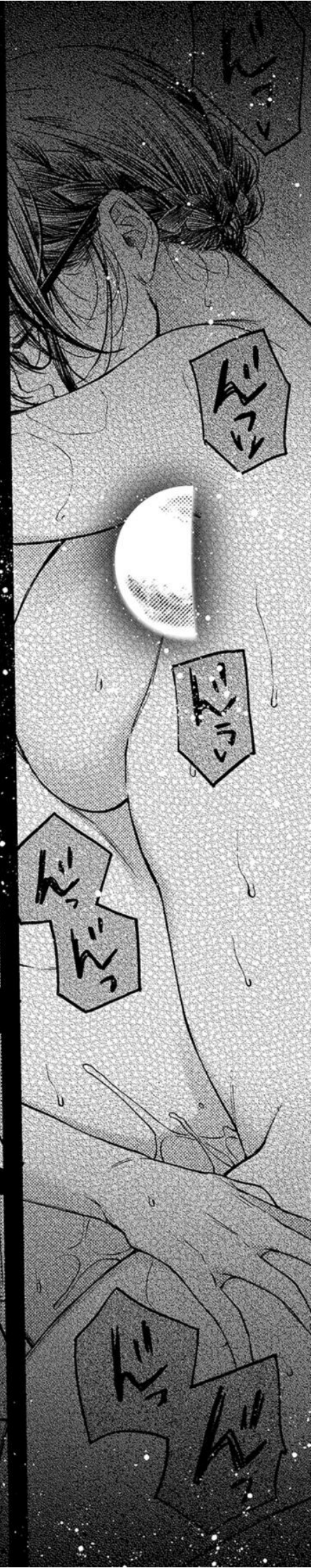
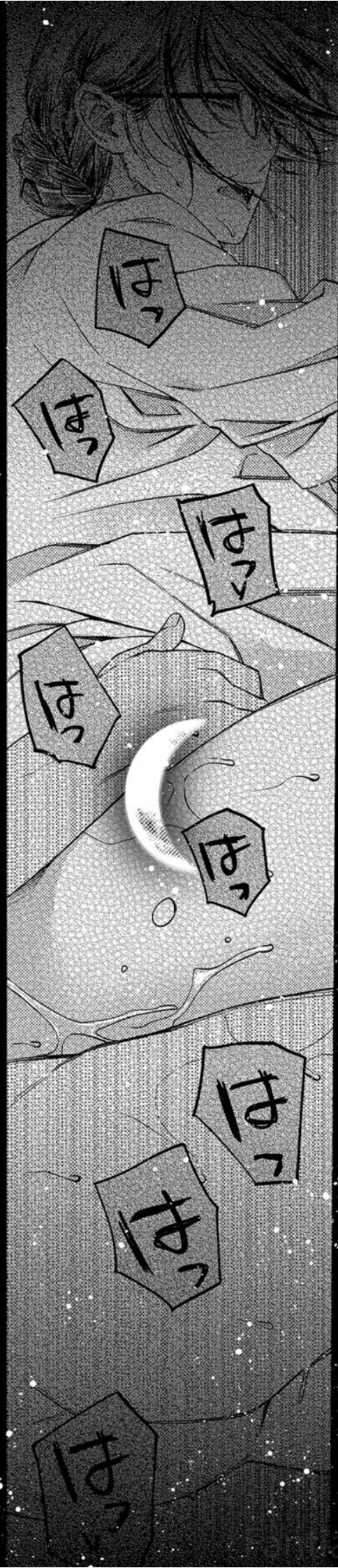
凄いな…

コチラでの分も
当然残っている
だろうな…？











朝も昼も夜も 影を重ね過ごし



満月は夜ごと欠けて行き







とうとう影が無くなった。

今宵は新月。

半月とは
早いものだね

どうだい
何か得るものは
あったかな？

え…？

君は芸術家の
卵だというし

ここでの経験が
君にとって何かしら
糧になればいいのだが

スィ

もしや
そっちなけ
で構って
いたワケ
ではない…
だろうな？

それではただの
『ケモノ』だ

そうだ
この夏が
終われば
元のところ
へ戻り

進路を決
めそれに
向かい
歩き出
すのだろ
う

止まっ
ていた
『時』が
動き出
すのだ



どうした

そんな捨てられた
子犬のような顔をして



ん？



ヤツキ先生

弟子にして
もらえませんか？



小間使いでも
何でもいいんです

何を言っ
てるんだ
自分は

たかだか
半月一緒にいた
というだけで

俺はここに
残った…



この人無しでは
いられなく
なってしまった
だなんて



…目を
瞑りたまえ

今宵は新月
何かを
開始するの
にうってつけだ



今この
手を
握めば



さあ
行きたまえ



再び
時は止まり
永遠が始まる
気がした



それ以上はダメだ

ここから出られなくなる

今思えば、通り者に当たったのかもしれない



とおくで ケモノの鳴く声がした、 気がした。

■ご挨拶■

初めまして、またはいつもありがとうございます。
日吉ハナです。

いつも同人誌即売会では二次創作ばかりでしたが、
今回は創作漫画本となりました。何気に初です。
といっても、完全に創作ではないのですが…。

今後商業で描く予定の作品の設定で、
切り口を変えると2つの物語が生まれ、
同じ設定でも商業ではその片方しか生かせないのであれば、
自主創作本という形で生かすこともできるだろう、
と制作したのが始まりです。
2つの物語を「生」んだ以上、「生」かしたいと思うのが親心。
単品でも読めるし、もう片方と併せても読める、
今後描く予定の作品にもリンクした作品になればなと思って
制作しました。

内容自体は、リメイクの無い作品ですので、
読みにくい、理解しづらい等あると思いますが、
それもまた味ということで、深読みして頂けたら幸いです。
国語の難しくも素晴らしいところは、
読んだ人の分だけ解釈があり
(明記されていない場合) 正解がないところ。
誤字も誤字ではないかもしれませんが、ね。

いつも商業を読んで下さっている方にはおなじみかもですが、
この『ヤゲツ』とは『8月』をもじったものであり、
また『ケモノ』シリーズの彼女でもあります。
謎深い彼女ですが、何処にでもいるということは、
何処にもいないのかもしれない、と思います。

とはいえ、この同人誌はあくまで「自主制作」であり、
商業のソレとは必ずリンクするわけではない、
という締めひどい言い逃れを残しつつ。

それではまた次回、どこかで。

Fantia_Edition
2023.01.31

HMA/日吉ハナ
<http://hma.xii.jp/>
hma_web@hma.xii.jp



感想マシュマロはこちら
よかったらご意見ご感想
お聞かせください。

*複製・版権元への連絡
Webへのアップロード行為
無断転載の一切を禁止し☑。

KIGETSU
no
KEMONO

HMA
HanaHiyoshi
2022.09.04